

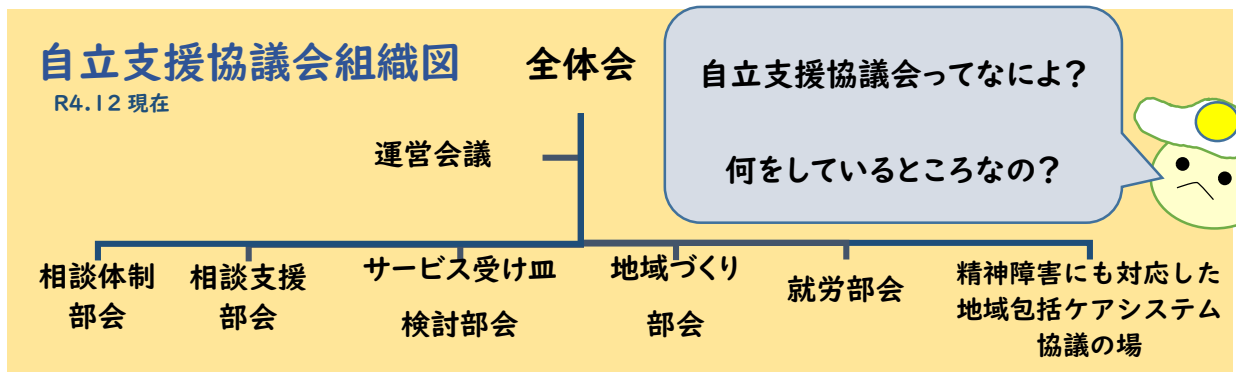
# KIMIOTO



君の音に耳を傾け、共に考える

長岡市障害者基幹相談支援センター通信 Vol.2 (2022.12)

最近めっきり寒くなってきました。今年は大雪の予報ですが、先日カマキリの巣を二階の網戸で発見しました!(@\_□\_@;)!! 地上約5m…まさかあんなところまで積もるのか!🐞



基幹相談支援センターで運営している長岡市自立支援協議会は、全体会、運営会議と5つの部会及び1つの協議会から構成され、障害福祉の現場や地域で起こる様々な課題について、テーマごとに当事者、支援者等の関係者を招いて協議し、その意見を市の政策に活かす場です。

<サービス受け皿検討部会発案の研修会の様子>



今年度サービス受け皿検討部会では、強度行動障害があるためにサービスに繋がりにくい方への理解を深める狙いで、熟練支援員による講義とトークテーマによる座談会を開催しました。

また市では、部会での議論を経て、特に受入れが不足している生活介護の事業所向けに、強度行動障害をお持ちの方の受入れ等に対し、補助事業も創設いたしました。



なるほど、現場の意見やアイデアを持ち寄って、より良い支援に活かす場なんだね!

第二回目の「TSUNAGARU」は障害者相談支援センターとちおさんにおじゃましました。



放課後等デイサービス「つむぎ」と併設されていて

明るい学習室やかわいいハロウインの飾り付けも発見！

長岡市栃尾表町5番6号 TEL:0258-86-6396 :to-soudan@tochio-fukushikai.jp  
 ホームページ: <http://www.tochio-fukushikai.jp/> 職員体制: 相談支援専門員3名  
 (写真はつむぎの職員と一緒に )



Q. 相談支援センターとちおの雰囲気はどう？

A. 令和4年6月に事業所が栃尾地域の中心部に移転したため、以前よりアクセスしやすくなりました。現在は、放課後等デイサービス「つむぎ」と一緒に建物の中で時間によっては賑やかに(!?)業務をしています。また、相談支援専門員の3人は守門の里に従事していた頃からの付き合いなので、20年来の同僚です。だからチームワークは完璧で、お互いに気どころの知れた仲間です。

Q. 仕事のやりがいはどんなところ？

A. やはり一番うれしいのは、困っていた方が福祉サービスに繋がって生活の質が向上した時です。また、利用者との距離が縮まって、個別の事情や心情を深く理解できた時などはやりがいを感じます。

Q. 地域で課題と感じるところはなに？

A. 栃尾地域は、中心市街地と違いサービスの利用に伴って送迎をどうするかということが課題になります。また山間部の地域柄なのか、いわゆる8050世帯の相談も特に多いように感じます。

Q. おすすめのリフレッシュ方法は？

A. 家庭菜園をやっており、大変だけど良い息抜きになっています。自作のナスやキュウリは味も格別ですよ。また、ロードバイクで汗をかくのも楽しいです。家から30キロくらいの距離を走って研鑽を積み、年に何度か大会にも出場しています。

☆相談支援専門員Kさんのリフレッシュツール



ロードバイクは時速 40km以上になることも…



～本誌をご活用ください～

研修会をPRしたい、事業所を紹介したいなど、ご要望は障害者基幹相談支援センターまで  
 長岡市表町2丁目2番地21 (社会福祉センター トモシア2F)  
 0258-39-2362 0258-86-0220 (Fax) n-kan-kikan-soudan@city.nagaoka.lg.jp